



佐藤 稔 議員

「住宅セーフティネット制度」の導入について

問 高齢者や低所得者、または子育て世帯向けに、民間の「空き家」「空き部屋」を賃貸住宅として提供する、「住宅セーフティネット制度」の導入を提案するが、市の考えを伺う。

答（都市建設部長） 古河市単独で制度を運用するには、市と居住支援団体等から成る居住支援協議会の設立が必要となるため、茨城県が設立する居住支援協議

会の構成員となり、市内の情報収集、調査活動を行い、市営住宅入居申し込み時や健康福祉部各課への生活相談時に情報提供ができる体制づくりに努めたい。

「危険な空き家」の解体費用助成制度導入について

問 経済的な理由で危険な空き家の解体ができない場合、一定条件の下で解体費用を補助する制度の導入を提案するが、市の考えを伺う。

答（生活安全部長） 空き家の解体費用補助制度の導入については、新たな財源が必要となるため、先進自治体の状況、メリット、デメリット等の検証に取り組み、古河市空き家等審議会の中で検討を重ねていきたい。

図書館の利用促進に「読書手帳」・「読書通帳」の導入を

問 読書活動の応援グッズとして「読書手帳」や「読書通帳」の導入を提案するが、市の考えを伺う。

答（教育部長） 古河市では、子ども読書活動推進計画を策定している最中であり、読書手帳等の導入や、他自治体の取り組み等、図書館利用促進策を調査研究し検討していきたい。



結城市の読書通帳



渡辺 松男 議員

生涯スポーツについて

問 高齢者にとって、楽しみながらスポーツ活動することは、健康増進に大切なことである。以前より、古河地区に常設のグラウンドゴルフ場が欲しいとの要望があり、福祉の森会館周辺が1つの検討事項になっている。現在隣接の芝生の広場でプレーしているが、ホールポストの移動が大変なことや、トイレが遠いことの解消が希望されている。身近なところで気軽にスポーツ

ができる、体を動かせることは健康にとって非常に大切なことであり、人生を豊かにするものである。ぜひ、市民の要望があるものについては、予算を勘案しながら着実な施設の整備をお願いしたい。

答（教育部長） 古河市の高齢者スポーツ状況について、平成29年4月現在でグラウンドゴルフでは23団体、199名、マレットゴルフでは25班、270名、ゲートボールでは1団体、68名の方が所属組織に登録して活動している。利用できる施設について、グラウンドゴルフでは三和農村環境改善センターや上大野グラウンド等を含め市内9つの施設がよく利用されており、マレットゴルフではリバーフィールド、

小堤スポーツ広場、市内3施設が利用されている。また、各施設のトイレの整備状況は、利用場所からの距離はさまざまだが、おおむね設置されている状況である。古河福祉の森会館北側の広場におけるグラウンドゴルフの利用の際の費用については無料となっている。現在の利用状況等を踏まえて、関係各課と協議を図り、トイレ等の設置の可否について今後検討していきたい。



《その他の質問》

・公共施設への防犯カメラの設置について